

加賀市中央公園の人工池の氷にできたチンダル像

神田 健三

石川県加賀市の中央公園の一角に、おとぎ話に登場する人物、動物などの像と浅い人工池が配置されたおとぎの国という遊び場がある。2014年1月15日の10時半頃、筆者が付近を散歩した際、池が凍っていて、氷におびただしい数のチンダル像ができているのを発見した。一旦家へ戻ってカメラ等の用意をし、再度現場に出かけて11時半～12時半頃、観察し、写真で記録した。

(チンダル像とは、氷に強い光をあてたとき、氷の内部が融けて、融けた範囲が円形や六花の形になるもの。中谷宇吉郎雪の科学館にこの実験コーナーがある。)

- ・この池はコンクリート造りの人工池で、水深が約18cmと浅い。丘の頂上付近にあり標高550m。周辺にいくつか天然池があるが、凍ったのはこの人工池だけだった。(他の池は深く、標高が少し低いことで、凍結に不利と考えられる。)
- ・氷を少し割って取り出した。厚さは約1cmあった。
- ・氷を模様のない均質な板の上に置き、太陽光によるチンダル像の影を映して写真を撮った。(たまたま持参していた緑色の野帳の表紙を使用)
- ・1月15日は、小松の最低気温が -3.8°C でこの冬の最低値。雪は降らず、日照時間は8.6時間と長かった。冬型が少し弱まり、寒気(高気圧)が日本列島の大部分を覆っていた。放射冷却で氷がはり、よく晴れて日差しが強かったのでチンダル像が出来たと考えられる。
- ・氷に雪が混じると観察が難しいので、筆者は、チンダル像は太平洋側でなければ観察が困難だと考えていた。しかし、条件が整えば北陸でも観察できることがわかった。



図1 おとぎの国の人工池に氷がはった。

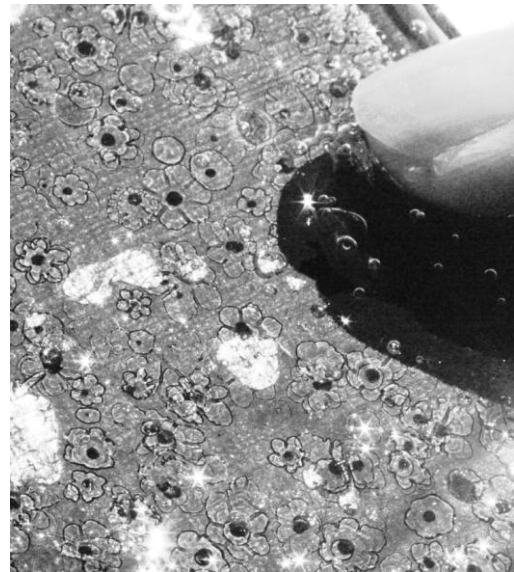


図2 観察したチンダル像(緑色の写真から画像調整)



図3 公園内の池の位置(この右方は松が丘の住宅地)

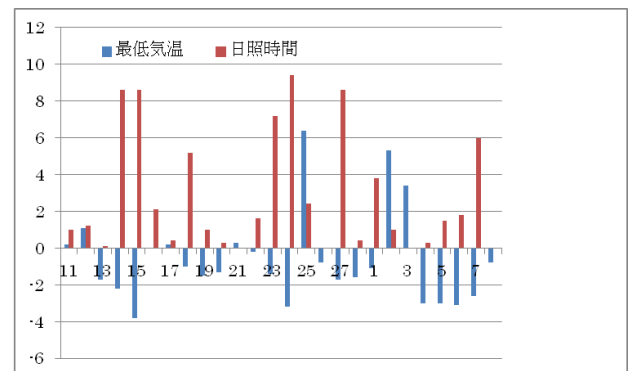


図4 小松の気象データ(2014.1.11～2.8)